

BENJAMIN ZANDER

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- English conductor, musical director of the Boston Philharmonic Youth Orchestra
- One of the most inspiring teachers and trainers of young musicians



Topics

- Creativity
- Innovation
- Leadership
- Motivation

ベンジャミン・ザンダーは、17年以上にわたりボストン・フィルハーモニー管弦楽団の指揮者であり、ほぼ四半世紀にわたりボストンのユース・フィルハーモニー管弦楽団の指揮者でした。

彼はアメリカ中で若い音楽家の最も刺激的な教師そしてトレーナーの一人としてだけでなく、19世紀と20世紀初頭の音楽の解釈の最先端の音楽家として知られています。

ロンドンで生まれた彼はグスタフ・ホルストの娘、イモーゲン・ホルストとの初期のトレーニングを行い、ベンジャミン・ブリテンの監督の下でオールドバラで数夏を過ごしました。彼はナショナルユースオーケストラのメンバーで、後でフィレンツェとケルンの州立音楽院でチェロを学びました。ロンドン大学を卒業した後、彼はそれ以来ずっと住んでいたアメリカへのハーネス・フェローシップに入り、ニューイングランド音楽院で教えました。

ベンジャミン・ザンダーは、企業の指導者、チームワーク、創造性、そしてコーチングの生涯の間に得られたコーチングの違いを明らかにして、企業への非常に人気のある講師になりました。オーケストラは、企業の世界のダイナミクスを説明するための肥沃なモデルとしてよく使用されてきました。今や、階層、統制、正しい思考へのこだわりといった伝統的な「導き」の男性スタイルが、権威をプレーヤーに移す新しい方法に道を譲っているため、効果的なリーダーシップのためには異なるスキルが必要です。

リスニングやアンサンブル演奏の芸術、そして個人の自己表現に対する隠れた障壁を取り除くためのコーチングを提供する能力がますます重要になってきます。相互依存が競争を勝ち抜くために不可欠であると認識されている時代には、リーダーにとっての中心的な問題は、優れたシンフォニーオーケストラとして振る舞うためにいかに制度を訓練するかということです。仮定に疑問を投げかけることによって、ある曲の演奏が通常のものから並外れたものにどのように変換されるかを実証する際に、リーダーが新しい日の課題に確実に対応する機関を設計できるモデルが出現する。

彼は、オーケストラを比喻として使って、さまざまなテーマについて話しています。

- 音楽の解釈：あなたの会社の可能性を理解する
- 指揮者の役割：真のエグゼクティブリーダーシップ
- 個々の選手を指導する：従業員から最高の結果を得る
- シンフォニーの実施：チームワークを可能にする
- 観客の登録：商品やサービスのマーケティング
- 素晴らしい芸術的経験を生み出すこと：普通のパフォーマンスと並外れたパフォーマンスとの間のギャップ。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988